

増える ニホンジカ 迫り来る脅威！

ニホンジカの増加と食害
あなたは知っていますか？

青森県・秋田県のニホンジカは明治～昭和初期に絶滅しました。しかしここ数年、目撃情報や死亡個体の発見が相次いでいます。岩手県などでの個体数の増加にともない、両県へも生息域を広げているのです。

シカが増えると、どうなるの？

全国でシカによる農業被害がでていないのは青森県、秋田県を含めた8県だけです。

■農林業被害が発生します

全国における平成24年度の農作物被害金額はシカが最も高くなっています。岩手県では稲が食べられるなどして約3億円の被害が出ています。

写真：稲穂が食べ尽くされた田（岩手県）

■生活被害や人的被害が発生します

庭木が食べられたり、車や列車との交通事故が発生します。平成25年の北海道におけるシカが関係した交通事故は1,818件でした。体の大きなシカとの衝突は、車に大きな損害を与えるだけでなく、人の生死に関わります。

写真：シカとの衝突により損傷した車（北海道）

■自然植生に影響が出ます

シカは多くの植物を食べるため、増えすぎると自然植生が衰退していきます。その結果、他の生き物が生息できなくなったり、土壤の流出などが起こり、森林の機能が低下します。世界遺産白神山地への影響が心配されています。

写真：樹皮が食べられ枯死した森林（奈良県）

シカはどうして増えてるの？対策はどうすればいいの？…裏面へ！

制作・発行：東北地方環境事務所 2015年1月発行

写真提供：岩手県自然保護課・岩手大学農学部野生動物管理学研究室

国土交通省北海道開発局釧路開発建設部・中静透

この印刷物は、グリーン購入法に基づく基本方針における「印刷」に係る判断の基準に従い、印刷物の紙へのリサイクルに適した材料「Aランク」のみを用いて作製しています。

- 今できること - 目撃情報をお寄せください !

シカによる被害を未然に防ぐには、シカが増え過ぎてしまう前に対策をとり、適切な個体数に抑える必要があります。そのためには、今どのくらい、どこに生息しているのか知る必要があります。青森県や秋田県のような現状がわかっていない地域では、地域の皆様からの目撃情報がとても重要な情報となります。

目撲情報の提供先

県のホームページから「ニホンジカ目撲情報調査票」をダウンロードの上、記入いただきFAXまたはメールでお送りください。インターネット環境がない場合はお電話でご連絡ください。

◆ 青森県で目撲された方

青森県 自然保護課

- TEL : 017-722-1111 (内線6506)
- FAX : 017-734-8072
- E-mail : shizen@pref.aomori.lg.jp

◆ 秋田県で目撲された方

秋田県 自然保護課

- TEL : 018-860-1613
- FAX : 018-860-3835
- E-mail : shizenhogoka@pref.akita.lg.jp

写真があると
確認ができるため、
助かります！



ニホンジカってこんな動物！

お尻にハート形の白い
尻斑があるのが特徴！



冬毛(10~4月)
灰褐色になる



夏毛(5~9月)
茶色で白い斑点がある

特徴

- 体の大きさ(肩高：つま先～肩まで)は60～130cm
- オスにだけ角があり、毎年生えかわる
- 繁殖期（9月～11月）以外は群れで行動する
- オスは繁殖期に「フィーヨー」と大きな声で鳴く
- 森林や草原に住み、ほとんどの植物の葉や樹皮、根や果実も食べる



野菜、稻、果物…
植物はほとんど食べます！



山菜も食べられてしまいます

カモシカとは違う動物です

青森県、秋田県には従来から“ニホンカモシカ”が生息しています。ニホンカモシカはウシの仲間、ニホンジカはシカの仲間で異なる動物です。

特徴

- 「アオシシ」と呼ばれている
- 体の色は灰褐色
- オスもメスも黒く短い角をもつ
- 体の大きさ(肩高)は70～75cm



ニホンカモシカ

シカはなぜ増えているの？

本州以南に生息しているシカの数は261万頭と推定されており、生息域は25年間で1.7倍に拡大しています。

強い繁殖力

シカは繁殖力が強く、栄養条件が良ければ毎年1頭の子どもを産みます。捕獲しないと4～5年で2倍の数に増えてしまいます。

ハンターの減少

シカを捕獲するハンターの高齢化が進み、少なくなった。シカの増加を抑えるだけの捕獲ができていません。

積雪量の減少

エサが埋まったり、歩きにくかったりするので、シカは雪の多いところが苦手です。近年積雪量の減少によって、冬場でもシカの住める場所が増えています。

このほかにも、森を切り開いて草地にしたり、人が里地里山を利用しなくなったことで、シカの餌や住みやすい場所が増えたことが考えられます。

ニホンジカがいたらダメなの？

◆ シカは繁殖力が強く群れで行動し、たくさんのエサを食べることから、単独で行動するカモシカと比べると被害や影響が大きくなります。

◆ 青森、秋田にも江戸時代まではシカが生息していました。しかし現在は、昔と比べて、シカが増えやすく減りにくい状況に変わっています。

このため、シカが一度定着するとあっという間に、被害が甚大になるまで増えてしまいます。こうなると、大量に増えすぎたシカを大量に殺すしか被害を減らす方法がなくなります。人もシカも不幸な状況です。シカはいてはいけないのでなく、増えすぎてしまうことが問題です。しかし、シカが一度定着してから、増えすぎないようにすることはとても難しいのです。